

「京都クレジット等取引所研究会」

第七回 議事の概要

1. 日時：平成 21 年 11 月 26 日（木）午後 1 時から午後 2 時まで
2. 場所：東京証券取引所 2 階ホール
3. 議題：
 1. 新事務局挨拶、新委員紹介
 2. 東京証券取引所グループと東京工業品取引所による共同出資会社の設立について
 3. ワーキンググループの設置、進め方等について

4. 議事の概要：

新事務局挨拶、新委員紹介を行った後、事務局より東京証券取引所グループと東京工業品取引所による共同出資会社の設立に向けた合意について説明を行った。

次に事務局より、「排出量取引決済制度ワーキンググループ」、「排出量取引会計・税制ワーキンググループ」の二つのワーキンググループを設置することを提案し、了承された。

最後に質疑応答を行った。

質疑応答における主な発言内容は以下のとおり。

- ・ 本格的な取引所の設立時期については、国際交渉の動向や、また国内の政策動向等を踏まえて判断しなければならない。
- ・ 排出量取引所は、必要とされる時には設立されている状態であることが望ましい。排出量の流通が活発になった時にはコンプライアンスバイヤーの選択肢の一つとして、また国際交渉の場においても、日本に排出量取引所が在るということは重要である。
- ・ 検討対象とする排出量（クレジット/アローワンス）によって、ワーキンググループの議論の仕方が変わることが予想される。国内外の動向を見ながらいくつかの仮定・前提をおきつつ議論していく必要がある。
- ・ 国別登録簿に階層構造を認めるかどうかについてはまさにこれからの議論となるが、取引所取引に対応できるような構造を考えていかなければならない。

以上

文責 東証上場部